

令和8年度 年間授業計画

教 科：地理歴史 科 目：日本史演習 単位数：2

対象学年：第3学年

使用教材	教科書：	詳説日本史（山川出版社）
	補助教材：	新詳日本史（浜島書店）

教科（ 地理歴史 ）の目標

【知識及び技能】	現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目（ 日本史演習 ）の目標

【知識及び技能】	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

令和8年度 年間授業計画 科目（日本史演習）

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準	知	思	感	記出時数
1 学 期	単元	近世の幕開け	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。			
	知識及び技能	指導事項	知識・技能				
	内容	幕府の成立と近世の幕開けに関する諸資料から情報を読み取り、幕府の特色や貿易・対外関係について理解している。	織豊政権/徳川文化	織田信長の統一事業、豊臣秀吉の天下統一、秀吉の朝鮮侵略と続く幕府政権の特色と意義、その後の時代への影響について理解する。			
	思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現				
	学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度				
定期考査（中間考査）/返却と解説						6	
単元	幕府体制の成立と展開	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
知識及び技能	指導事項	知識・技能					
内容	幕府体制の成立と展開に関する諸資料から情報を読み取り、文治政治への転換から元禄時代・正徳期に至る政治の推移について理解している。	幕府体制の成立/幕政の安定	江戸幕府の成立による幕府体制の確立過程、鎖国政策について、単なる対外貿易の遮断ではないことを理解し、歴史的意義について理解する。				
思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現					
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度					
定期考査（中間考査）/返却と解説						6	
単元	幕府体制の動揺	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
知識及び技能	指導事項	知識・技能					
内容	幕府の経済的動揺、百姓一揆・打ちこわしの頻発などに関する諸資料から情報を読み取り、享保の改革や田沼時代の幕府の意義について理解している。	幕政の改革/幕府の衰退と近代への過渡	天明開港のアジア進出による国際情勢の変化やそれに対する幕府の対応を踏まえて幕府が衰退していく過程を理解する。				
思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現					
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度					
定期考査（中間考査）/返却と解説						7	
単元	近世から近代へ	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
知識及び技能	指導事項	知識・技能					
内容	列強の接近にもともなう幕府改革に関する諸資料から情報を読み取り、幕府の改革がもたらした近代の萌芽がみられ、幕府が出現する過程を理解している。	開国と幕末の動乱/幕府の滅亡と新政府の発足	国際環境の変化に着目して、日本の開国を社会・経済面での変化、江戸幕府の威信低下と幕府の自滅について考察し表現する力を身に付ける。				
思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現					
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度					
定期考査（期末考査）/返却と解説						7	
単元	近世から近代へ	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
知識及び技能	指導事項	知識・技能					
内容	幕府の改革や田沼時代の幕府の意義について理解している。	幕政の改革/幕府の衰退と近代への過渡	天明開港のアジア進出による国際情勢の変化やそれに対する幕府の対応を踏まえて幕府が衰退していく過程を理解し、考察し、表現できる力を身に付ける。				
思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現					
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度					
定期考査（期末考査）/返却と解説						1	

令和8年度 年間授業計画 科目（日本史演習）

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
単元	近代国家の成立	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
知識及び技能	指導事項	知識・技能					
	欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化について諸資料から適切に情報を読み取り、江戸幕府が対外政策を転換して開国に至る経緯などを理解している。	明治維新と富国強兵/立憲国家の成立	①明治新政府の制度改革や富国強兵・殖産興業政策に着目して、政治的変革と国家的統一過程について考察し、表現する力を身に付ける。				
思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現					
	日本が演進していた国内外における諸課題を踏まえ、政治や経済などの諸側面の変化などを多面的・多角的に考察し、表現している。	教科書・資料集等	①明治新政府の制度改革や富国強兵・殖産興業政策に着目して、政治的変革と国家的統一過程を理解する。	○	○	○	6
学びに向かう力、人間性等	一人1自端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度					
	日本の開国に関わる諸事象を国際的な視点から考察し、開国のもたらした政治的・経済的・社会的影響について主体的に探究しようとしている。	小テスト等	上記のことについて、授業中の発言や課題、ノート作成などを通して、主体的かつ積極的に取り組んでいる。				
単元	近代国家の展開	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
知識及び技能	指導事項	知識・技能					
	日清・日露戦争の前後における条約改正の完成、韓国併合や満洲への勢力拡張などについて諸資料から情報を読み取り、この時期の戦争の様相や背景、日本の国際的地位の変化を理解している。	日清・日露戦争の国際関係/第一次世界大戦	①東アジアをめぐる国際環境が変化する中、国家的課題であった不平等条約の改正交渉が進展した過程や、朝鮮問題から日清戦争に至る経緯について考察し、表現する力を身に付ける。				
思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現					
	講義が戦争を支持する一方で反戦論が存在したこと、戦争が国民としての自覚や尊厳の誇りをもたらしたことなどについて多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにして表現している。	教科書・資料集等	①東アジアをめぐる国際環境が変化する中、国家的課題であった不平等条約の改正交渉が進展した過程や、朝鮮問題から日清戦争に至る経緯について理解する。	○	○	○	6
学びに向かう力、人間性等	一人1自端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度					
	対外的な戦争が日本の近代化の過程の中での意味を考察し、主体的に探究しようとしている。	小テスト等	上記のことについて、授業中の発言や課題、ノート作成などを通して、主体的かつ積極的に取り組んでいる。				
定期考査（中間考査）/返却と解説							
単元	近代の産業と生活	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				0
知識及び技能	指導事項	知識・技能					
	産業の発達の影響などに着目し、諸資料から産業革命の展開について適切に情報を読み取り、地域社会における労働や生活の変化が社会問題を生み出したことを理解している。	近代産業の発展/市民生活の変容と大衆文化	①日清・日露戦争前後にかけて資本主義国家の基礎が確立された過程を、産業革命や近代産業の発展について考察し、表現する力を身に付ける。				
思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現					
	地域社会の変化などを踏まえて産業革命の変化がもたらしたことや、労働問題や公害問題の発生について多面的・多角的に考察し、表現している。	教科書・資料集等	①日清・日露戦争前後にかけて資本主義国家の基礎が確立された過程を、産業革命や近代産業の発展に着目して理解する。	○	○	○	6
学びに向かう力、人間性等	一人1自端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度					
	産業の発達とそれによる社会問題への対応について課題を見出し、自ら主体的に探究しようとしている。	小テスト等	上記のことについて、授業中の発言や課題、ノート作成などを通して、主体的かつ積極的に取り組んでいる。				
単元	恐慌と第二次世界大戦	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
知識及び技能	指導事項	知識・技能					
	国際社会やアジア近隣諸国との関係に着目して、日本で連続した恐慌と政府の対応などに関わる諸資料から情報を読み取り、恐慌と国際関係について理解している。	恐慌の時代/第二次世界大戦	①日本の対外政策の推移について、世界情勢や軍部の政治的進出に着目して、政党内閣の崩壊や国際的孤立の過程について理解し、考察し表現する力を身に付ける。				
思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現					
	フロンティア制下の協同外交が、中国における民族運動の進展や日本の経済的動向によって次第に緊張が高まったことについて考察し、根拠を明確にして表現している。	教科書・資料集等	①日本の対外政策の推移について、世界情勢や軍部の政治的進出に着目して、政党内閣の崩壊や国際的孤立の過程について理解する。	○	○	○	6
学びに向かう力、人間性等	一人1自端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度					
	当時の新聞などから世論の動向を読み取ったり、様々な人々の議論について考察したりして、課題を主体的に探究しようとしている。	小テスト等	上記のことについて、授業中の発言や課題、ノート作成などを通して、主体的かつ積極的に取り組んでいる。				
定期考査（期末考査）/返却と解説							
1							

令和8年度 年間授業計画 科目（日本史演習）

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準	知	思	感	記号時数
単元	占領下の日本	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
知識及び技能	指導事項	知識・技能					
第二次大戦前後の政治や社会の類似と相違などに着目して、戦後の議改革の内容と日本国憲法の制定に関わる諸資料を読み取り、占領政策と議改革について理解している。		占領と改革/冷戦の開始と講和	①戦後の世界秩序を踏まえ、占領政策および戦後の民主化政策とそれともなう議改革について、その経過と内容を理解し、考察し、表現する力を身に付ける。				
思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現					
戦後の議改革が連合国の対日占領政策にもとづくとともに、戦争に対する日本国民の反省にええられつつ実施されたことについて、多面的・多角的に考察し、表現している。		教科書・資料集等	①戦後の世界秩序を踏まえ、占領政策および戦後の民主化政策とそれともなう議改革について、その経過と内容を理解する。	○	○	○	6
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度					
現代の日本との関係性を踏まえながら、占領期における議改革が生み出した成果と課題について、主体的に探究しようとしている。		小テスト等	上記のことについて、授業中の発言や課題、ノート作成などを通して、主体的かつ積極的に取り組んでいる。				
単元	高度成長の時代	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
知識及び技能	指導事項	知識・技能					
保守合同による自由民主党の成立から、経済成長を背景とする安定した保守政権の誕生に至る経緯について諸資料から情報を読み取り、外交・政治・経済を踏まえて理解している。		55年体制/経済復興から高度経済成長へ	①冷戦構造の中で日本が国際社会に復帰したことについて、日本の国際連合への加盟、アメリカ・中華人民共和国・大韓民国との関係に着目して、独立回復後の日本の動きについて理解する。				
思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現					
日ソ共同宣言をはじめとする国交交渉と国際連合への加盟、新安保条約・LIT貿易・日韓基本条約・沖縄返還問題などの外交事業がもたらした課題を多面的・多角的に考察し、表現している。		教科書・資料集等	②冷戦構造の中で日本が国際社会に復帰したことについて、日本の国際連合への加盟、アメリカ・中華人民共和国・大韓民国との関係に着目して、独立回復後の日本の動きを考察し、表現する力を身に付ける。	○	○	○	6
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度					
55年体制の歴史的背景や、1960年代における保守政権の安定化を考察することを通じて、独立後の国内政治について主体的に課題を究出しようとしている。		小テスト等	上記のことについて、授業中の発言や課題、ノート作成などを通して、主体的かつ積極的に取り組んでいる。				
単元	激動する世界と日本	指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
知識及び技能	指導事項	知識・技能					
ドルショックや石油危機による世界経済の混乱に対応するため主要先進国首脳会議が開かれる一方、日本は石油危機を乗り越えて経済大国となったことを理解している。		経済大国への道/冷戦の終結と日本社会の変容	①高度成長が終焉し、保守政権が動揺する中、2度にわたる石油危機を乗り越え、経済大国としての道を歩み始めた日本の状況を多面的・多角的に理解する。				
思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現					
日本が石油危機を乗り越えて経済大国となった要因について多面的・多角的に考察し、その結果を表現している。		教科書・資料集等	②高度成長が終焉し、保守政権が動揺する中、3度にわたる石油危機を乗り越え、経済大国としての道を歩み始めた日本の状況を多面的・多角的に考察し、表現する力を身に付ける。	○	○	○	6
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度					
第二次世界大戦後の日本の国際社会における様々な取り組みについて、課題を主体的に探究しようとしている。		小テスト等	上記のことについて、授業中の発言や課題、ノート作成などを通して、主体的かつ積極的に取り組んでいる。				
単元		指導項目に対し、次の教材等を活用する。	次の観点別評価規準に従い評価する。				
知識及び技能	指導事項	知識・技能					
0	0	0					
思考力、判断力、表現力等	教材	思考・判断・表現					
0	0	0					
学びに向かう力、人間性等	一人1台端末の活用場面	主体的に学習に取り組む態度					
0	0	0					
定期考査（期末考査）/返却と解説							
							合計
							70